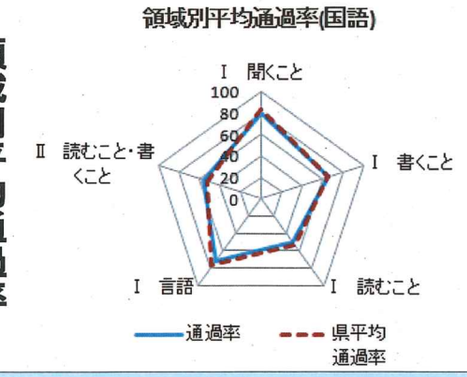
別紙５

指導方法等の改善計画について　〔国 語 科〕

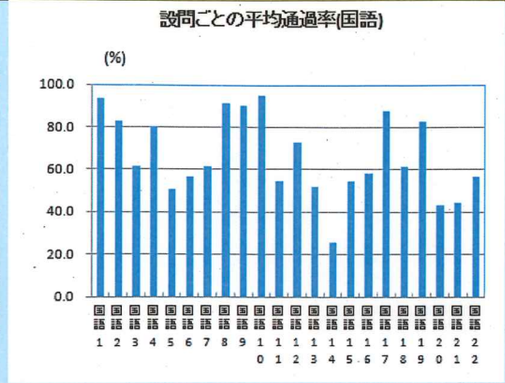
呉市立昭和中央小学校

「基礎・基本」定着状況調査　本年度通過率　（本校　66. 3%, 県　68. 0%）

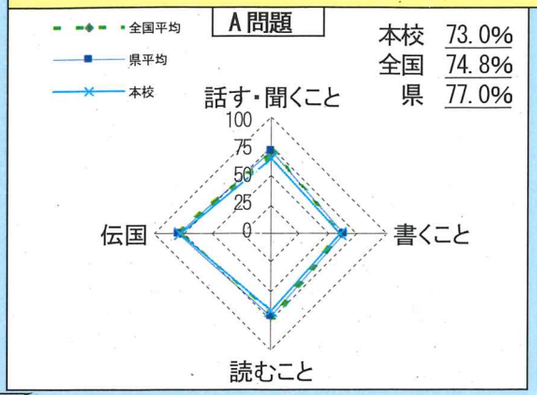
領域別平均通過率

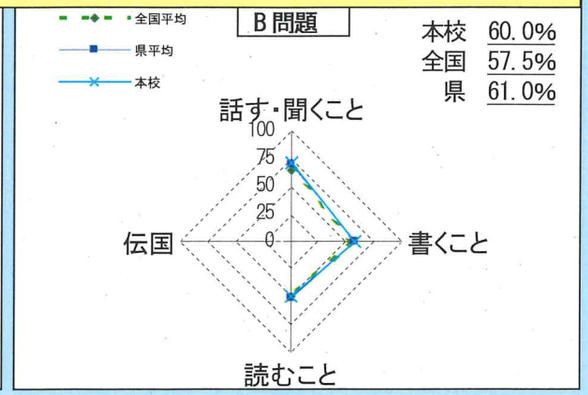


設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査　本年度正答率





重点課題　◎「基礎・基本」定着状況調査　◇全国学力・学習状況調査

◎　叙述を基にした想像（自分の考えの記述）をすることに課題がある（通過率25.9%）。登場人物の気持ちを想像し，行為を根拠として読み取ることができている児童は多いが，問題の条件に合わせた答え方が十分にできていないことが見られる。

◇　自分の考えを広げたり，深めたりするための発言の意図を捉えることが難しい。（通過率31. 0%）

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業等）

◎　国語の授業で，物語文では登場人物の気持ちを想像したり，説明的文章では叙述を基に自分の考えを伝えたりする活動を設定していく。友達の考えと自分の考えを比べながら聴き，複数の情報を関連づけて考えさせたり，話し合わせたりする活動を通して，題意に沿った内容の理解や話し合いができるようにしていく。

◇　ものの見方や考え方を広げるために，物語を読んで，感想を伝え合い，一人一人の感じ方に違いがあることに気付き，自分の考えを広げたり，深めたりできるようにする。

※　複数の資料を読んで条件に合わせて記述したり，必要な情報を取り出して関連づけて書いたりすることに課題がある。小中一貫した取組については，国語科の授業を中心に複数の資料を読み比べたり，関連づけたりして根拠を元に書かせる学習を継続して行う。また，語彙力を養うためにも書くことを積極的に授業に取り入れる。

◎「基礎・基本」	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法		５年生 H２９「基礎・基本」抜粋		４・５年生 学期末テスト		４年生 H２９「基礎・基本」抜粋	４年生 学年末テスト
目標値		６０%		８０%		６０%	８０%
実施後数値		６１%		８２%		４０%	８４%

◇全国学力	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法		６年生 H29「全国学力」抜粋		６年生 学期末テスト		５年生 H29「全国学力」	５年生 学年末テスト
目標値		６０%		８０%		６０%	８０%
実施後数値		４３%		８５%		５２%	７８%

来年度に向けて

叙述を基に内容を想像したり，想像したことを問題の条件に合わせて記述したりすることが継続課題である。物語文の感想を書いたり，説明的文章を読んで自分の考えを伝えたりする活動や，条件に合わせて文章を書く活動に引き続き取り組ませる。

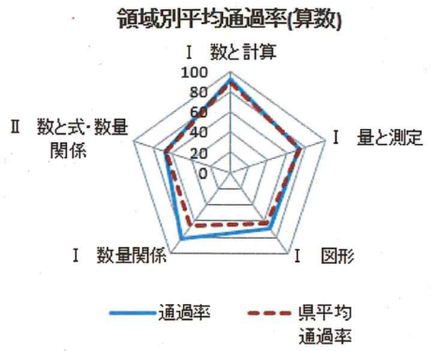
別紙５

指導方法等の改善計画について　〔 算 数 科 〕

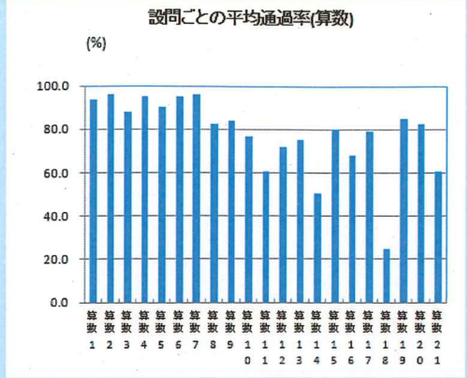
呉市立昭和中央小学校

「基礎・基本」定着状況調査　本年度通過率　（本校　77．9%，県　74．3%）

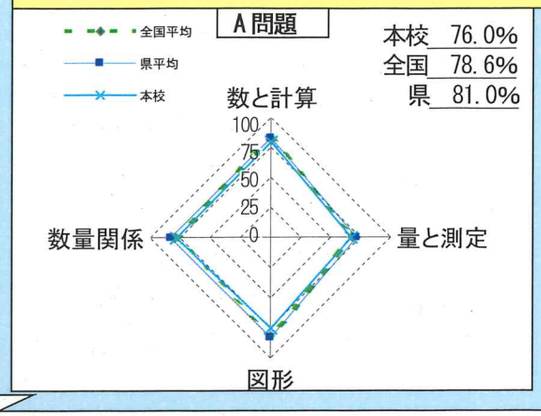
領域別平均通過率

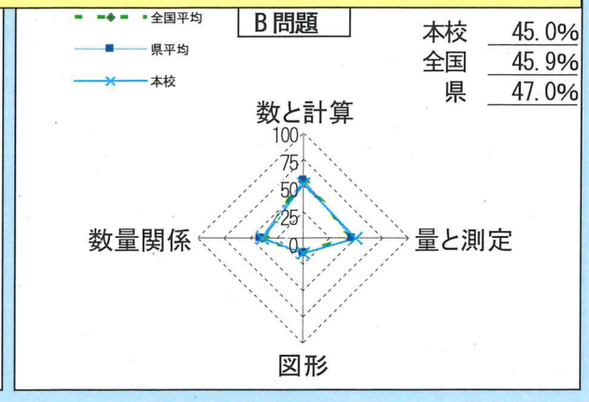


設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査　本年度正答率





重点課題　◎「基礎・基本」定着状況調査　◇全国学力・学習状況調査

◎　タイプⅡ「数と数量関係」において，二つの折れ線グラフを比較し，読み取って説明する（通過率２４．７%）に課題がある。グラフの関連づけではグラフの目盛りに着目して読み取り，傾きと関連づけて考えたり，説明したりすることが難しい。

◇　問題文を読み，問題場面を正しく把握することに課題がある。直線の数とその間の数の関係に着目して，示された方法を問題場面に適用することができていない。（通過率２１．０%）

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業等）

◎　情報がたくさん詰められている問題にも取り組ませ，問題をしっかり読む力や必要な情報を取り出す力をつける。帯タイムを利用して発展問題に取り組む。

◇　授業や帯タイム，家庭学習で文章題に取り組ませ，問題場面をイメージし，把握する力を育てる。表や図，線分図などに表し，問題を整理し，論理的に考える活動を充実させていく。

※　解決の方法や,判断の理由を数学的に説明したり，数学的な表現を用いて説明したりすることに課題がある。小中一貫の取り組みとして,数学的用語などの理解を深め,解き方や考え方を説明し合う活動を取り入れる。

◎「基礎・基本」	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法		5年生 H２９「基礎・基本」抜粋		5年生 学期末テスト		4年生 H２９「基礎・基本」	4年生 H２９「基礎・基本」
目標値		６０%		８０%		６０%	８０%
実施後数値		６７%		７２%		５０%	８３%

◇全国学力	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法			6年生 H２９「全国学力」抜粋			5年生 H２９「全国学力」	5年生 学期末テスト
目標値			８０%			６０%	８０%
実施後数値			４１%			５５%	７９%

来年度に向けて

問題文を読み，問題場面を正しく把握することが継続課題である。問題文を読んで必要な情報を取り出し，表や図，線分図などに表し整理する活動に引き続き取り組ませる。

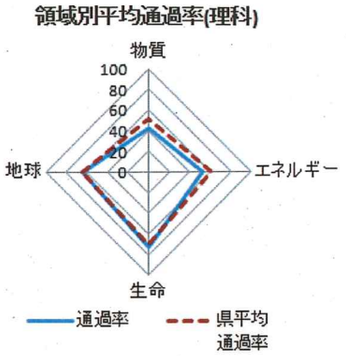
別紙５

指導方法等の改善計画について　〔 理 科 〕

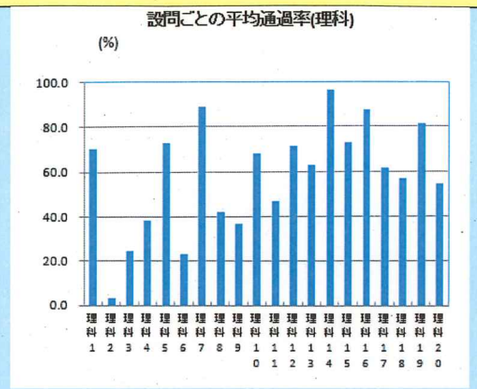
呉市立昭和中央小学校

「基礎･基本」定着状況調査　本年度通過率　（本校　58．1%，県　61．7%）

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



重点課題　◎「基礎・基本」定着状況調査

◎①「空気や水の性質」（3.7%），「物のあたたまり方と温度」（24.7%），それぞれの特性や仕組みが理解できていない。

◎②「光のはねかえり方」（23.5%）など，想像力達成率が概ね低い。

※　全体的に，応用がきかない，想像力が乏しい傾向がある。理科用語が正しく書けない児童がいる。（例. 並列つなぎ→平列×つなぎ）また，分かっていても，文章で説明することができにくく，特に，主語がなかったり接続語を正しく使えなかったりする児童が多い。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業等）

◎　①②実験や観察後，結果をまとめるだけでなく，深い考察を行う。その際，ポイントになるところ，正しい理科用語で答えさせる経験をさせる，穴埋め式で答えるのではなく，実験の事象をきちんと文章で書くなどの指導をやりきる。（その際，正しい漢字が書けない場合もあるので，平仮名表記もよしとする。）

低学年においては，生活科などで植えた野菜や花をただ見るのではなく，見る視点（例えば，葉の形を描く，葉の生えているところを見るなど）を与えて，具体的に描かせたり観察させたりする経験を積ませる。

さらに，生活に結びつくように働きかける。

※　観察実験からまとめる力に課題がある。キーワードを見いだして既習事項を用いてまとめて発表させる場面を充実させる。

◎「基礎・基本」①	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
学年・方法		４年生 H２９「基礎・基本」抜粋		３・４・５年生 学期末テスト		４年生 H２９「基礎・基本」	３・４・５年生 学期末テスト
目標値		６０%		８０%		７０%	８０%
実施後数値		６５%		８７%		７３%	８１%

◎「基礎・基本」②	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
学年・方法		４年生 H２９「基礎・基本」抜粋		３・４・５年生 学期末テスト		４年生 H２９「基礎・基本」	３・４・５年生 学期末テスト
目標値		６０%		８０%		７０%	８０%
実施後数値		６２%		８７%		７５%	８１%

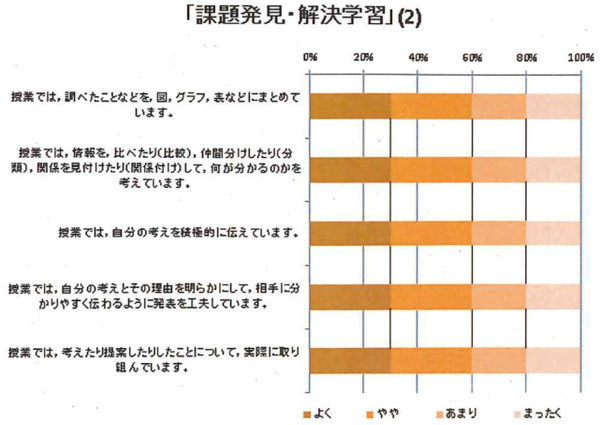
来年度に向けて

事象について理科用語を使い，文章で説明することに課題がある。今後も比較したり，関連付けたりし，結果を考察することに取り組む。また，定期的に問題に当たらせ，復習を継続する。

別紙５

２　質問紙調査　（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）　（全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査）

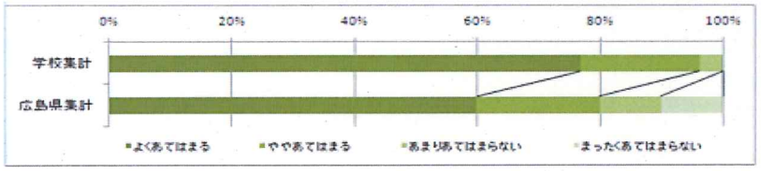
（１）生活・学習



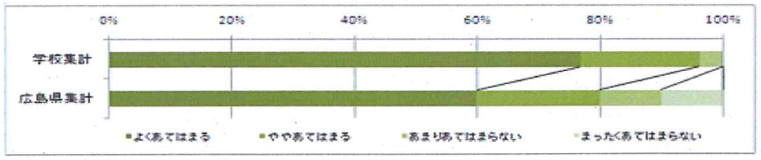
	児童の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
基礎・基本	７２．８％の児童しか，授業で自分の考えを積極的に伝えられていない。	話型を示したり，ペア・グループ学習を取り入れたりしていく。	5	８０％	アンケート	２月	87%	14.2
全国	友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意だと思っている児童が５２．２％しかいない。	ペア・グループ学習や自分の意見を書く活動を取り入れ，自信が持てるようにする。	6	６０％	アンケート	２月	70%	17.8

（２）教科

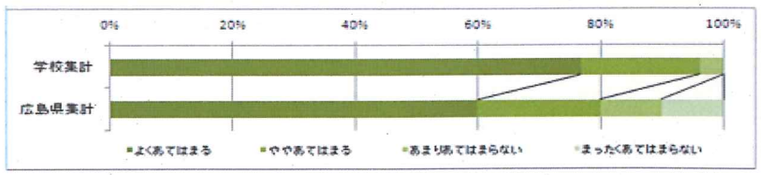
国語の授業の中で，学んだことの振り返りをしています。



算数の授業では，自分のとき方や考え方の説明をノートに書いています。



理科の授業では，観察や実験を行うときは，その目的は何かを意識しています。



「基礎・基本」定着状況調査の調査結果入力ファイルで作成されるグラフを適宜活用する。

		児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
国語	基礎・基本	国語の勉強が好きな児童は７７．８％しかいない。	何を根拠に児童が苦手だと思っているのかを分析し，興味・関心を高める手立てをする。	5	８５％	アンケート	２月	88%	7.2
	全国	目的に応じて資料を読み，自分の考えを話したり書いたりする児童は６８％しかいない。	総合的な学習の時間や他教科と関連させながら調べたことを表現できる場を設定する。	6	８０％	アンケート	２月	82%	14
算数	基礎・基本	算数の授業で，解き方や考え方を話し合うときに，理由を挙げて説明している児童は８１．５％しかいない。	授業の中に発表する機会を増やし，話型を示し，理由を挙げて説明させたり，指導者が意識して取り組んだりする。	5	８５％	アンケート	２月	87%	5.5
	全国	学習したことを普段の生活の中で活用できると考えている児童が６９．１％しかいない。	生活場面と関連付けた課題設定を行うことにより，日常生活と算数を結び付けられるような授業づくりをする。	6	８０％	アンケート	２月	82%	12.9
理科	基礎・基本	理科の授業で，自分の考えをまわりの人に説明したり，発表したりしている児童は８０．２％だった。	実験・観察を行ったあとに，自分で考える時間を確保し，一人一人が自分の考えを持つことができるようにする。	5	８５％	アンケート	２月	93%	12.8